

(2020年2月)

ハイチ共和国・政治・経済・社会情勢月報

<要点>

【社会】

- 社会：刑務所抑留者のうち75%が裁判所の判決を待たされている人々（11日）
- 治安：一部警察官による労働条件の改善を要求するデモの発生（17日，19日）
- 治安：治安の悪化による首都でのカーニバルの中止（23日）
- 治安：誘拐の多発

1 社会

（1）社会：刑務所抑留者のうち75%が裁判所の判決を待たされている人々

- 11日 国家警察は、刑務所の抑留者のうち75%が裁判所の判決を待たされている人々であることを発表した。刑務所に収容されている者 11463 人のうち、2761 人が有罪判決を受けているが、残りの 8641 人が判決を待たされている間に刑務所に抑留されており、この中には 700 人の女性と 178 人の未成年が含まれている。

（2）治安：一部警察官による労働条件の改善を要求するデモ

- 17日 一部の警察官とその支援者約100名が、警察官の労働条件の改善と労働組合結成を求めて、首都ポルトープランスの大統領府前広場から、デルマ地区等を経てペションビル（Petion-Ville）の国家警察本部までデモ行進を行った。本部前では、デモ参加者等が一時暴徒化して、発砲、投石、放火、略奪行為等の暴力行為に及んだ後、再び大統領府前広場周辺に戻り、週末に開催が予定されているカーニバル観覧用のステージを放火する等の破壊行為を行った。
- 19日 17日のデモ先導を理由に翌日罷免された警察官が中心となり、同様の経路でデモが実施され、一部のデモ参加者が発砲、放火、略奪行為等の暴力行為に発展した。同デモには、ギャングも参加していたとの情報がある。

（3）治安：治安の悪化による首都でのカーニバルの中止

- 23日 大統領府前広場で大統領府を護衛する軍隊と任務に就いていない警察官との間で撃ち合いがあり、軍人1名と警察官2名が死亡、10名が負傷する事件が発生した。これを受けて、同日、政府は、首都でのカーニバルの中止を正式に発表した。

（4）治安：誘拐の多発

- 2月は、ギャングによる金銭目当ての誘拐事件が相次ぎ、外国人も被害が及んだ。